

施設用 消臭洗剤

消臭液体洗剤

エコスマイル

LQ-22

消臭粉末洗剤

エコスマイル

PO-8

開発背景

- ・老人人口の増加による老人施設の増加
- ・老人施設入居者独特の臭いの問題
施設入居者のみならず、ダイアパーや清拭タオルなどでも、臭気問題は以前からあり
- ・私物の洗濯後、臭いが気になる
- ・消臭の需要が高まっている

開発目標

- ・特有の臭気を除去できること
- ・私物をきれいに洗浄できること
- ・取扱が容易であること

液体タイプ ~ エコスマイルLQ - 22 ~

外 観 : 淡黄色透明液状

比 重 : 1.0

pH : 中性

イオン性 : アニオン・ノニオン

特長

- ・化学的消臭と感覚的消臭の相乗効果により、私物特有の臭気をすっきり除去します。
- ・もちろん、通常の汚れもすっきり除去します。
- ・抗菌剤配合により衛生的に洗浄します。

粉末タイプ ~ エコスマイルPO - 8 ~

外 観 : 白色粉末

比 重 : 約0.85

pH : 中性

イオン性 : ノニオン

特長

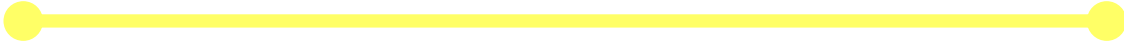
- ・化学的消臭と感覚的消臭の相乗効果により、私物特有の臭気をすっきり除去します。
- ・もちろん、通常の汚れもすっきり除去します。
- ・抗菌剤配合により衛生的に洗浄します。
- ・色柄物、生成り品も安心して洗えます。



施設用 消臭洗剤

エコスマイルLQ - 22 (液体消臭洗剤)

エコスマイルPO - 8 (粉末消臭洗剤)



消臭機能メカニズムについて



一般的な消臭方法としては...

香料を用いた**感覚的脱臭**

酸化、中和、付加反応等を利用した**化学的脱臭**

活性炭、シリカゲル等多孔質物質による吸着を利用した**物理的脱臭**

「エコスマイルLQ - 22」「エコスマイルPO - 8」

は、弊社産業用消臭剤“クリースト”の技術を応用開発

して、**化学脱臭をメイン**とし、さらに **感覚的消臭を付与**

して完全消臭するメカニズムとなっている。

化学的消臭とは、
悪臭成分（悪臭の元となる化学物質）を
消臭成分（消臭剤に含まれる化合物）と化学反応
させることで、異なる成分にする（＝臭いも異なる）ことである。

臭気の種類方法はいろいろであるが、例えば、
「酸性臭」「アルカリ臭」「中性臭」のように分類される。

実在する臭気（悪臭）は、
「単一成分」というよりもむしろ
「多種の臭気成分が混在」して形成
されており、これら多種の臭気を一度に処理することが必要とされる。

今回の消臭洗剤「エコスマイルLQ - 22・エコスマイルPO - 8」
は、化学的消臭の中和反応を利用した消臭メカニズムとなっている。

製品の内容に
『（アルカリ性の消臭成分）（酸性の悪臭と反応する成分）』と
『（酸性の消臭成分）（アルカリ性の悪臭と反応する成分）』が
含まれており、その中和反応にて消臭される仕組みとなっている。
次項以降にて、より詳細な消臭メカニズムを解説する。

人から出る代表的臭気

酸性臭

代表的なものとして汗臭、足臭があります。これの主な成分は、皮脂などの有機物が皮膚常在菌により分解し、揮発性低級脂肪酸となったもので、これの代表的なものが、「イソ吉草酸」、「酪酸」、「酢酸」です。

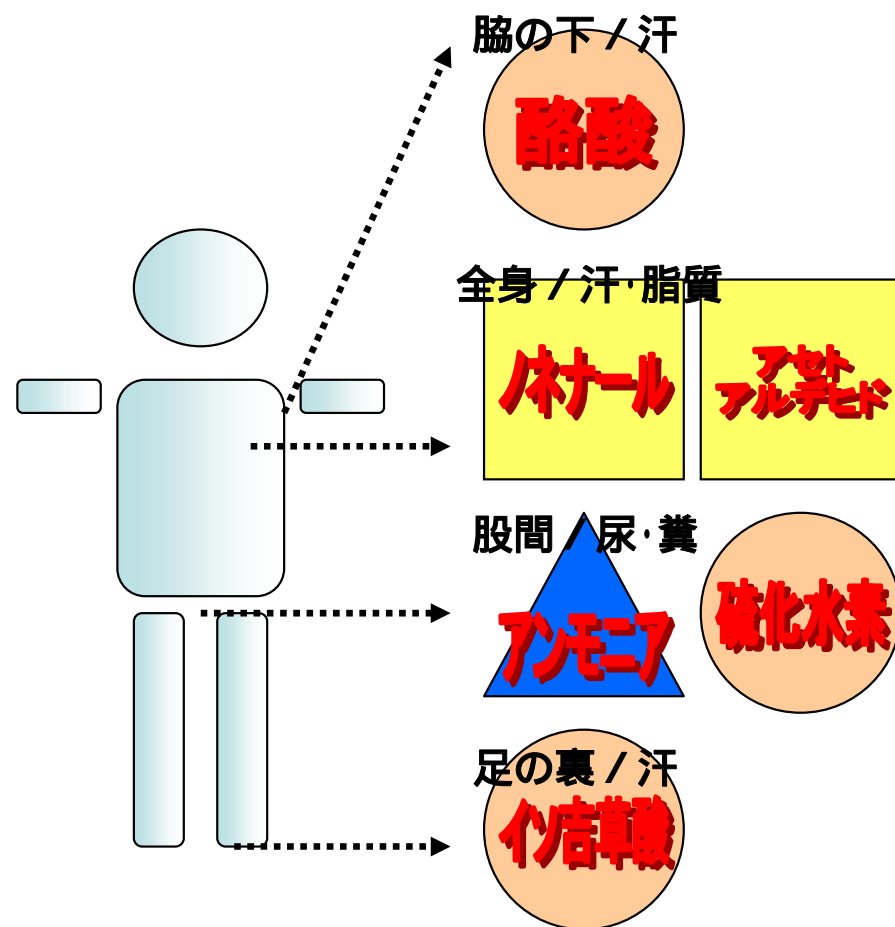
アルカリ臭

股間の尿・糞などが分解して、アンモニアなどを発生し不快臭となります。

中性臭

アルデヒド類のアセトアルデヒド、ノネナール等です。

ノネナールは近年話題となっている加齢臭のもとで、皮脂の成分が雑菌や紫外線により過酸化脂質(パルミトオレイン酸)にかわり、これが分解し不飽和アルデヒドのノネナールを形成します。40代以降男女とも、この物質を発生するといわれており、60代以上の高齢者が顕著であるといわれています。

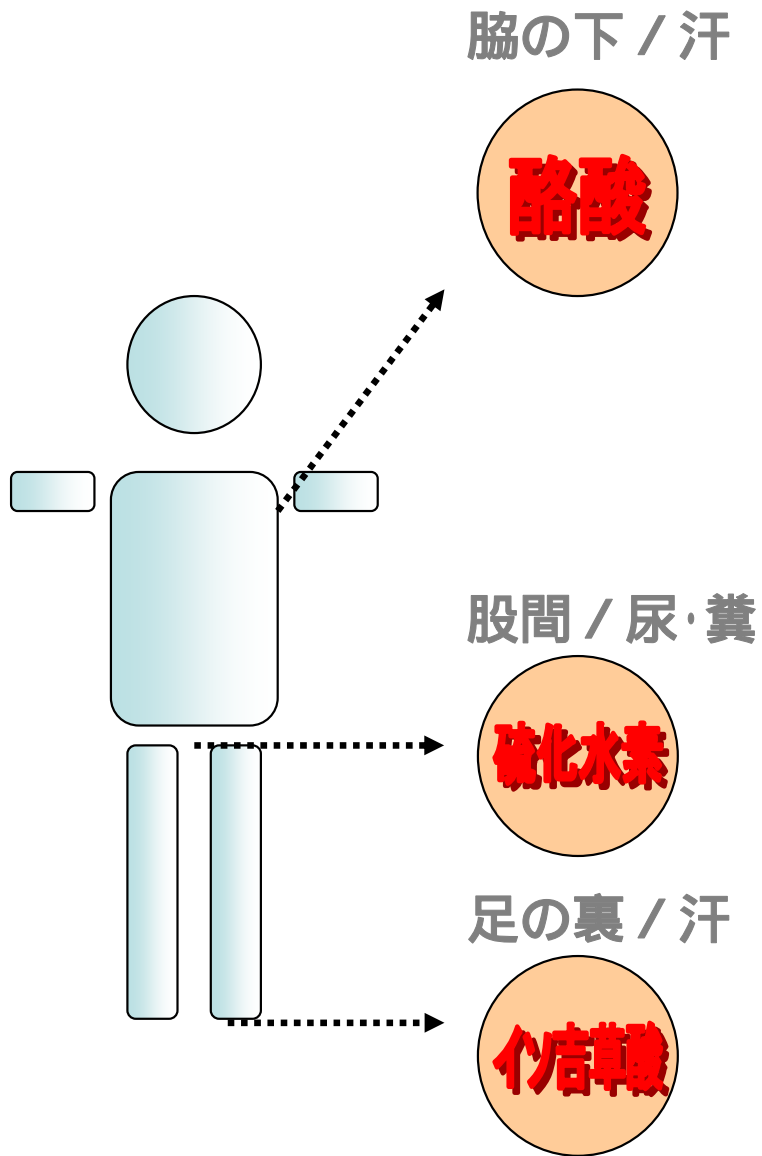


酸性臭

アルカリ臭

中性臭

酸性臭の消臭メカニズム



酸性の悪臭

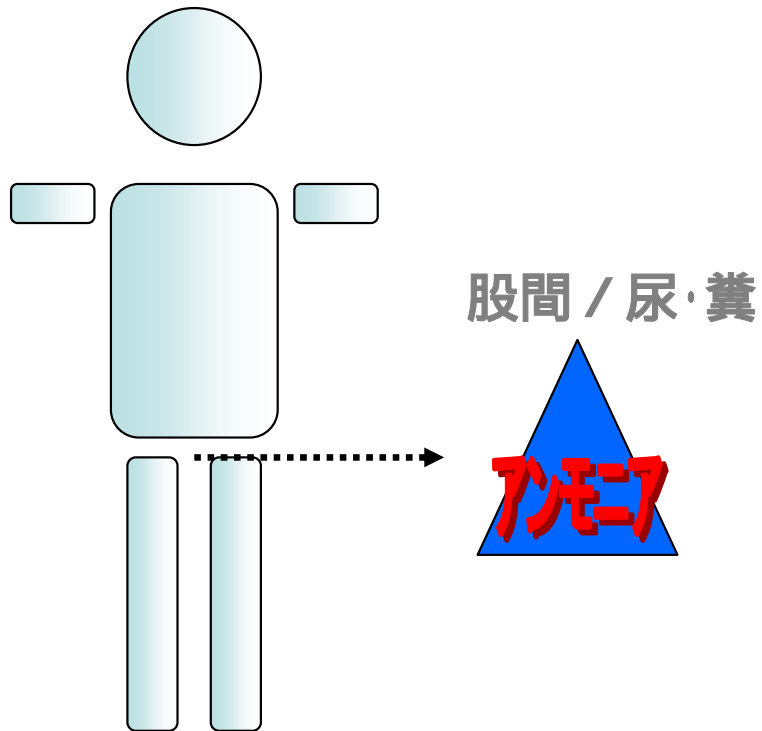
酪酸・硫化水素・イソ吉草酸 etc

これらは酸性の物質なので、
アルカリ性の成分で中和反応
させることにより、無臭化する。

アルカリ臭の消臭メカニズム

アルカリ性の悪臭

アンモニア etc

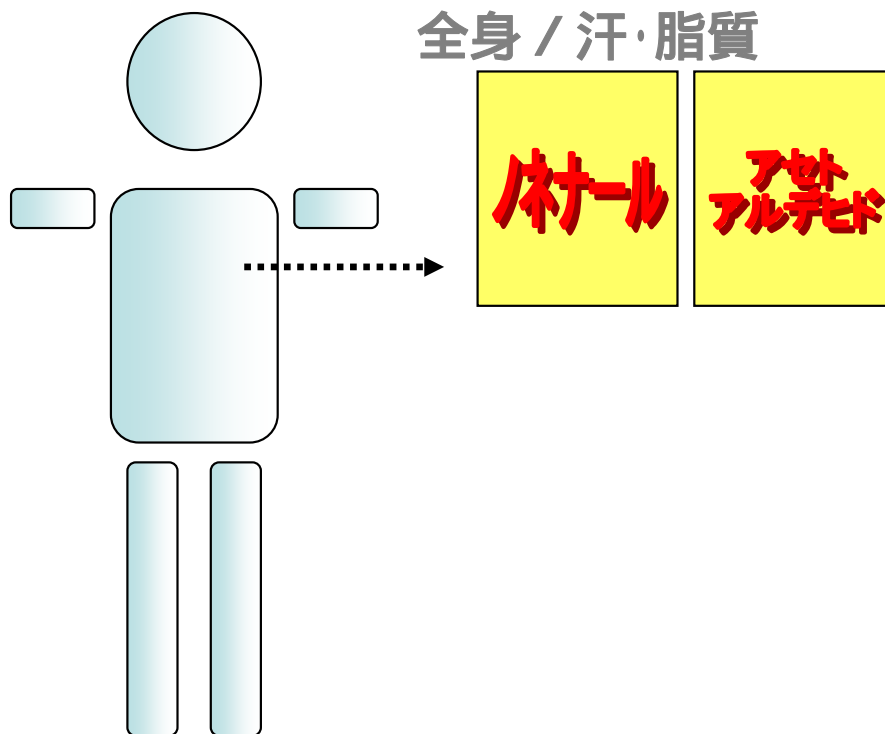


これらはアルカリ性の物質なので、
酸性の成分で中和反応
させることにより、無臭化する。

中性臭の消臭メカニズム

中性の悪臭

ノネナール・アセトアルデヒド etc



これらの悪臭は、中性であるため
中和反応による消臭は出来ない。

従って、洗浄時に浸透性の高い活性剤
により、衣服に残留している臭い成分
を水の中に乳化分散させ洗い流す。